

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年8月17日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	木津川市		代表者名	河井規子
担当者部署	マチオモイ部		連絡先電話番号	0774-75-1201
担当者役職	係長	担当者氏名	新田真司	連絡先E-mail
住所	619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9			

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原田 智
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	実際の研修の進め方や講義内容について協議するとともに、木津川市としての攻め所、強調したいポイントを明確にするべきといった助言をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	事前協においては特になし。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年6月28日	14時15分	15時15分		60
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン
	派遣形態	事前打合せ(オンライン)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	木津川市の自治体DXを推進するうえで、庁内職員の取り組みへの主旨や背景についての理解が不足している。また、昨年12月に更改された「自治体DX推進計画」の内容を職員に周知する必要がある。さらに、本年夏ごろに公開予定である「自治体DX推進手順書」に関する情報を得ることにより、国の方針を盛り込んだ計画策定を行いたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	庁内職員がこれからの「デジタル社会」の中で、行政職員としてDXに取り組む第一歩として、自治体DXの主旨や背景等についての共通認識を持つことを目標とする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	実際の研修の進め方や講義内容について協議するとともに、木津川市としての攻め所、強調したいポイントを明確にするべきといった助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	研修会にサブタイトルを付け、伝えたいことを明確にした。自治体DX推進のための研修会「自治体DX、職員ができる“はじめの一歩”」	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	研修の事前協議であり具体的な成果物はない。	
改善又は解決されなかった内容	特になし	
持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前協議のためアンケートなし	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

